健保・年金だより

○保険証を大切に、退職時には必ず返しましょう
○保険給付支給通知書は大切に保管しましょう
医療費控除を受ける時必要になります。

平成28年度収入支出決算について

平成28年度の健康保険組合の決算がまとまりましたので、お知らせいたします。

平成28年度の収入総額は26億8、713万円となり、支出総額は24億9、163万円となりました。収支差引残は1億9、550万円となりましたが、別途積立金繰入等を除く経常収支は△1億6、571万円と2年連続の赤字となりました。今後もさらなる医療費の増加や支援金の負担増が予想されます。当健康保険組合は、無駄を省き効率的な運営を継続していく所存ですが、皆様におかれましても生活習慣病健診、定期健診、特定健診など積極的に受診していただき、医療費の節減にご協力下さいますようお願い致します。

◆収入（健康保険分）

・保険料収入
平均標準報酬月額が前年度を下回ったものの、標準賞与額が前年度より上回り、前年より219万円増加の22億8、311万円となりました。

・国庫負担金収入
事務費に対する国からの補助金で、67万円となりました。

・調整保険料収入
高額医療給付、財政窮迫組合に対する交付事業を行うため、健保連に拠出するための保険料で、3、353万円となりました。

・繰入金
医療費や納付金の支払いに充てるため、別途積立金から2億8、896万円を繰り入れました。

・国庫補助金収入
特定健診・特定保健指導等に対する国からの補助金及び高齢者医療支援金等負担金助成事業による補助金で、3、461万円となりました。

・財政調整事業交付金
高額な医療費に対し、負担軽減のための支援金で、3、903万円の交付を受けました。

・雑収入
積立金の利子、保養所の利用収入等などで、722万円となりました。

◆支出（健康保険分）

・事務費
組合の事務の運営に係る諸経費で、5、777万円となりました。

・保険給付費
社員の皆様とご家族にかかった医療費のうち、健保組合から支払った費用です。法定給付費は11億2、854万円となりました。組合独自の付加給付費は2、154万円です。保険給付費全体では、保険料収入に対する割合は、44・64%を占めています。

・納付金
前期高齢者納付金は、65歳～74歳までの方を対象とした前期高齢者の医療費の財政支援です。納付金は、当組合で支出した2年前の前期高齢者の医療費をもとに算出した概算額と、2年前に算出した概算額と実際の医療費により計算された確定額との精算があります。支出は2年前の医療費の精算額及び概算額の合計で前年度より3、492万円減の5億9、668万円です。

後期高齢者支援金は、75歳以上の方が加入する後期高齢者制度への支援金で、1割の高齢者の保険料、被用者保険・国民健康保険から4割、公費から5割で賄われています。前年度より54万円減の5億1、082万円です。

その他退職者給付拠出金等で3、286万円拠出しており、全体では11億4、036万円を納付しています。

納付金は、全体として前年度より5、561万円減少しています。保険料収入に対する割合は、44・27%を占めています。ただし、前期高齢者の医療費が増加しており、平成29年度の納付金合計は12億7、653万円となっています。

・保健事業費
皆様の健康づくりに支払った費用で、生活習慣病健診などの健診事業、人間ドック・脳ドックの補助、育児図書の配布、保養所等の運営を行っています。支出は、1億748万円です。

・営繕費
保養所の修繕などで、74万円の支出となりました。

・財政調整事業拠出金
高額医療給付、財政窮迫組合に対する交付事業として、各健保組合より健保連に拠出しており、今年度は3、349万円拠出しました。

◆介護保険
介護保険は、平均標準報酬月額が減少したものの、被保険者数及び標準賞与額が増加し、前年度より452万円増加の1億9、357万円となり、繰入金1、967万円を含め、収入総額は2億1、333万円となりました。支出は介護納付金で、2億448万円となりました。

◆決算残金処分
平成28年度の決算残金は、健康保険分の残額は1億9、550万円で、財政調整事業繰越金を除く1億9、546万円を別途積立金に、介護保険分の残額は885万円で法定準備金にそれぞれ積立いたします。

平成28年度収入支出決算概要

◆適用状況

区分	本年度平均	前年度平均
被保険者数	4,846人	4,848人
平均標準報酬月額	332,593円	334,535円
被扶養者数	4,769人	4,774人
前期高齢者数	169人	121人
介護保険被保険者数	2,260人	2,208人

◆収入（健康保険分）

科目	本年度決算額（千円）	被保険者1人当り額（円）
保険料収入	2,283,106	471,132
国庫負担金収入	673	139
調整保険料収入	33,527	6,918
繰入金	288,965	59,630
国庫補助金収入	34,613	7,143
財政調整事業交付金	39,026	8,053
雑収入	7,223	1,491
合計	2,687,133	554,506
経常収入合計	2,291,687	472,903

◆支出（健康保険分）

科目	本年度決算額（千円）	被保険者1人当り額（円）
事務費	57,770	11,921
保険給付費	1,150,090	237,328
納付金	1,140,360	235,320
保健事業費	107,485	22,180
還付金	297	61
営繕費	742	153
財政調整事業拠出金	33,487	6,910
連合会費	1,377	284
雑支出	25	5
予備費	0	0
合計	2,491,633	514,162
経常支出合計	2,457,400	507,099

◆収入（介護保険分）

科目	本年度決算額（千円）	被保険者1人当り額（円）
介護保険料収入	193,566	85,649
繰入金	19,670	8,704
雑収入	93	41
合計	213,329	94,394

◆支出（介護保険分）

科目	本年度決算額（千円）	被保険者1人当り額（円）
介護納付金	204,480	90,478
介護還付金	0	0
積立金	0	0
合計	204,480	90,478

◆決算残金処分内訳

種別	一般勘定（千円）	介護勘定（千円）
準備金	0	8,849
別途積立金	195,465	0
財政調整事業繰越金	35	0

勝又企業年金基金の平成28年度の決算についてお知らせいたします

平成28年度の資産運用環境は、円高進行や英国のEU離脱決定など10月までの日経平均株価は15、000～17、000円程度で推移しましたが、11月に米国大統領選でトランプ氏が勝利すると、一時急落したもののその後は上昇基調で推移し、日経平均株価は18、909円となり前年度末より16・8%上昇しました。米国においても、NYダウは20、663ドルを付けるなど株価は堅調に推移しました。

当基金の資産運用利回りは、時価ベース利回りは4・11%となり、時価総額は9、395百万円となりました。結果として、155百万円の当年度剰余金を計上することになりました。

当基金では、今後とも長期的な視点に立って年金資産の収益向上に努めてまいりますので、皆様のご協力をお願い致します。

1.収入の部　（単位：千円）

科目	決算額	内容
掛金等収入	746,304	加入員・事業主からの掛金
運用収益	410,609	資産を運用して得た収益金
特別収入	12,997	過年度分の年金戻入分
計	1,169,910	

2.支出の部　（単位：千円）

科目	決算額	内容
年金給付費	498,895	当年度に支払った年金・一時金の額
移換金	2,593	20年未満の退職者の一時金相当額を他の年金制度へ支払った額
信託報酬等	66,368	信託銀行等に手数料として支払う額
責任準備金増加額	447,062	将来の年金に必要な積立金の前年度からの増加額
当年度剰余金	154,992	収支バランスの額
計	1,169,910	